

組織部速報

2019年8月28日
No.3

一切の組織破壊攻撃を許さず、 強固なJR総連組織を築くためにJR東労組と共に闘おう！

昨年6月からインターネット上に開設されている「真実の声」のホームページに対して、2018年10月23日に開催されたJR総連単組地協拡大代表者会議にて「『真実の声』は組織破壊である」ことが確認をされました。これを受けて中央本部は、2018年10月31日に開催した第7回中央執行委員会において、「真実の声」は組織破壊であると既定し、JR東労組の再生に固く連帯していくことを確認しました。しかし今日まで、毎日のようにブログが更新され、JR総連やJR東労組に対する誹謗・中傷の「投稿」が繰り返し行われてきました。

この「真実の声」の管理者（発行者）が元参議院議員田城氏の秘書であった畠山浩信氏が関与していることが明らかになりました。

JR東労組中央本部は、8月22日、第3回中央執行委員会を開催し、①畠山氏は全12地本で組織破壊と確認した「真実の声」に加担していたことは、組織破壊以外の何物でもない。②畠山氏はJR東労組に雇用されながら、JR東労組の名誉を著しく汚し、社会的信用を失墜させ、機関役員として団結または統制を乱したこと、そのことにより中央執行部員の解除と東京地方本部に地本特別執行委員の解除を求めることを満場一致で確認し、指令7号（1. 畠山浩信君の中央執行部員を解除する。2. 東京地方本部に畠山浩信君の地本特別執行委員の任を解除することを求める。3. 畠山浩信君に「真実の声」の閉鎖を求める。4. 中央本部は畠山浩信君に対して、雇用と勤務に関する規則第25条2項に基づき、2019年8月23日から懲戒処分の決定まで出勤停止を命ずる。5. 12地方本部は指令の内容を全組合員に周知し、組織破壊を許さない体制を構築すること。）を発出しました。

JR東労組は、18春闘の大敗北を教訓として再生をはかるために、12地本が一体となって組合員の信頼を勝ちとり、脱退した組合員の再加入をめざし努力を重ねてきています。この努力に対して、無責任な誹謗・中傷を繰り返す「真実の声」は、JR総連・JR東労組を破壊しようとする者を利するものであり、断じて許すことはできません。

現在JR総連の破壊策動が顕著に現れています。今年4月に発売された書籍の「暴君」や、9月に発売される西岡研介著書の「トラジャ」等はJR総連破壊の何物でもありません。

JR貨物労組は、一切の組織破壊攻撃を許さず、強固なJR総連組織を築いていくために、これまで以上にJR総連・JR東労組との連帯を強化していきます。